

【河川】 日本野鳥の会山形県支部と『意見交換会』を実施!! ～ 重要インフラ緊急対策等における野鳥への配慮に向けて～

平成31年2月27日
山形河川国道事務所

1. 概要

平成30年7月豪雨等の近年の災害を踏まえ実施した重要インフラの緊急点検結果に基づき、甚大な人命被害等が生じるおそれの高い箇所について、堤防強化、樹木伐採、河道掘削等の緊急対策を実施するうえで、樹木の伐採が必要となる。また、河川巡視の際の視認障害など地域の安全安心を守るうえでも樹木の伐採を計画的に進めていくことが重要となってくる。

このことから、日本野鳥の会山形県支部の皆様と生息環境の保全並びに治水安全度の向上等を目指した樹木の伐採について意見交換を行った。

- 日 時：平成31年2月27日（水）10:00～12:00
- 場 所：山形河川国道事務所 2階 大会議室
- 内 容：平成30年度伐採箇所の状況について
平成31年度伐採予定箇所について
防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策について
最上川官民連携プラットフォーム事業について
- 出席者：日本野鳥の会山形県支部
山形河川国道事務所
山形県



意見交換会の開催状況

2. 意見交換会の様子

「治水上、樹木の伐採はやむを得ない」と理解しているが、野鳥への配慮として影響のない範囲で島状（アイランド形式）に樹木を残すこと、また、野鳥の種類による巣の見分け方等についてご指導をいただくなど、活発な意見交換を行った。

